

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神戸市における浸水対策の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	神戸市											
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,760	A	2,760	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・市街地、郊外部の土地利用状況等をふまえた河川整備計画に基づき、妙法寺川を50年確率規模（上流部30年確率規模）、伊川・櫛谷川を30年確率規模で改修を行い、改修率を55%（H27）から62%（H31）に進捗させる。 河川整備計画に基づく河川改修延長（率） 【基幹3河川の要改修延 = 27.8km】	55%	57%	62%
2	・災害予防を重視し、予防徹底のため、浸水が想定されている河川のうち、神戸市地域防災計画上で水防対策実施が位置付けられている重要水防箇所の改修を優先的に行い、当該区間延長を11.1km（H27）から8.2km（H31）に減少させる。 重要水防箇所に指定されている区間延長（片側延長） 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所区間延長 = 11.1km】	11km	10km	8km
3	(H29見直し後) (H29見直し後 H27は目標値なし)	0km	24km	19km
4	・また、重要水防箇所に指定されている工作物を4箇所（H27）から2箇所（H31）に減少させる。 重要水防箇所に指定されている工作物（箇所） 【H27当初の基幹3河川重要水防箇所の工作物4箇所】	4箇所	2箇所	2箇所
5	(H29見直し後) (H29見直し後 H27は目標値なし)	0箇所	9箇所	7箇所
6	・河川整備計画規模の降雨により想定されている浸水面積を、321ha(H27)から22ha(H31)に減少させる。 河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積(ha) 【H27当初の浸水想定面積=321ha】	321ha	38ha	22ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H29に兵庫県により、重要水防箇所の見直しがされた。それを踏まえ、見直し前後で目標値を並列表記 上段 H29見直し前、下段 H29見直し後（H27は目標値なし）												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
河川事業	A03-001	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤(2)	-	妙法寺川水系妙法寺川都市基盤河川改修事業	L=630m、護岸工、橋梁架替	神戸市須磨区						1,677	1.24	-	
		継続事業																		
	A03-002	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤(2)	-	明石川水系伊川都市基盤河川改修事業	L=700m、護岸工	神戸市西区							363	1.25	-
		継続事業																		
	A03-003	河川	一般	神戸市	直接	-	都市基盤(2)	-	明石川水系櫛谷川都市基盤河川改修事業	L=780m、護岸工	神戸市西区							720	4.88	-
		継続事業																		
											小計						2,760			
											合計						2,760			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 令和2年度神戸市建設事業外部評価委員会	事後評価の実施時期 第1回委員会：令和2年10月19日 第2回委員会：令和3年1月26日
	公表の方法 神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続中3河川（妙法寺川・伊川・櫛谷川）は、河川整備計画に基づく必要断面の確保を行うとともに、治水安全度の向上を図れた。</li> <li>・河川改修に伴い、重要水防箇所指定されている区間延長を減らすことができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤河川改修事業として、引き続き妙法寺川・伊川・櫛谷川の3河川の改修を鋭意進め、治水安全度の向上に努める。</li> <li>・河川改修事業を主体的に進めるとともに、官民が相互に連携して流域・減災対策を進めることで「総合治水推進計画」を推進する。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標 河川整備計画に基づく河川改修延長（率）	
	最終目標値	62%
	最終実績値	60%
当初想定していなかった地すべりが発生したことにより対策が必要となり、時間を要したため。		
2	指標 重要水防箇所指定されている区間延長（片側延長）	
	最終目標値	8km
	最終実績値	0km
3	指標 のH29見直し後（片側延長）	
	最終目標値	19km
	最終実績値	20km
当初想定していなかった地すべりが発生したことにより対策が必要となり、時間を要したため。		
4	指標 重要水防箇所指定されている工作物（箇所）	
	最終目標値	2箇所
	最終実績値	0箇所
5	指標 のH29見直し後（箇所）	
	最終目標値	7箇所
	最終実績値	7箇所

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	指標 河川整備計画規模の降雨により想定される浸水面積（ha）	
	最終目標値	22ha
	最終実績値	22ha